

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	林道管理事業			
予算科目	6 款 2 項 4 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 林業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	583
記入者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	堀内 英幸
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	林道における維持管理にかかるもの			
根拠法令等				
事業の目的	林業用道路としての機能を保全し森林資源の効率的な整備を図る。			
事業の内容	伊予市管理林道の路面整正・崩土除去・側溝清掃、整備開設路線等の用地測量登記業務			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	11,500	11,121	1,135	9,622
	人件費	2,545	1,769	885	1,769
	合計	0	12,890	2,020	11,391
人件費 内訳	人工数	0.32	0.22	0.11	0.22
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,545	1,769	884	1,769
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	14,045	12,890	2,020	11,391

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
林道管理事業	%	78	100	10.2	86.5

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	10,000	10,000	11,000	11,000	11,000	53,000

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額×100			
指標設定の考え方	予算額を100%とし、決算額の予算額に対する率により、当該事業のコスト縮減効果を図る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100	100	100	0
実績	78	86.5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	林業の低迷で、木材の搬出が激減しており、車両の通行が少ないこと、林道には構造物が少ないため、草刈及び崩土取除き作業が主な作業となる。また、延長が長いことから、全線を実施するには膨大な費用が発生することから、何年かに分割して実施している状況である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	林道機能の保全には不可欠な事業であり、引き続き的確・計画的な維持管理を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題